

令和 3 年 度

第 1 回足立区青少年問題協議会
報告資料

《 目 次 》

- 1 令和2年度「いじめ認知・解消状況」及び「第3回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について

(教育指導部 教育指導課)
・・・1～5頁

- 2 令和2年度の不登校児童・生徒数について

(こども支援センターげんき 教育相談課)
・・・6～9頁

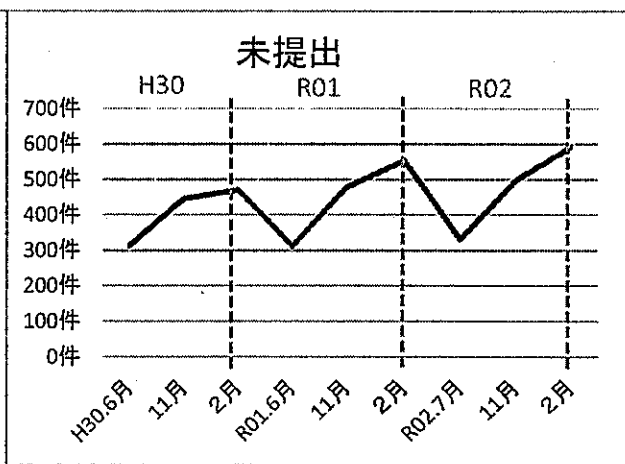
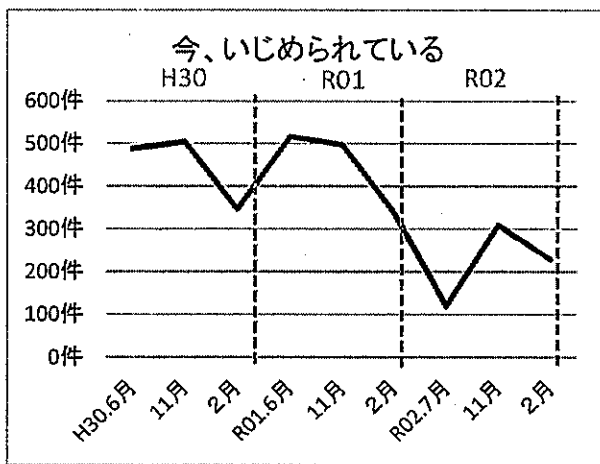
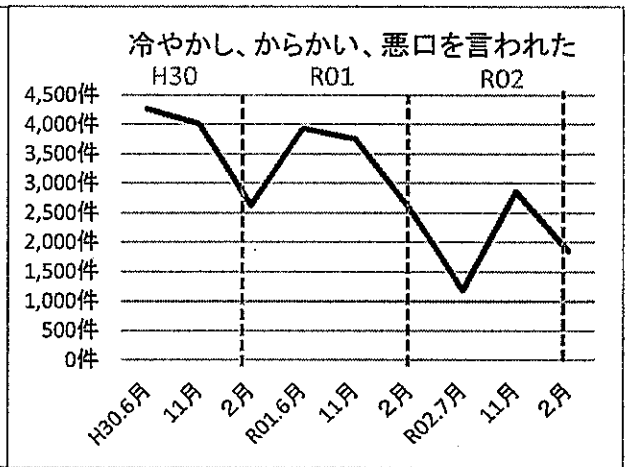
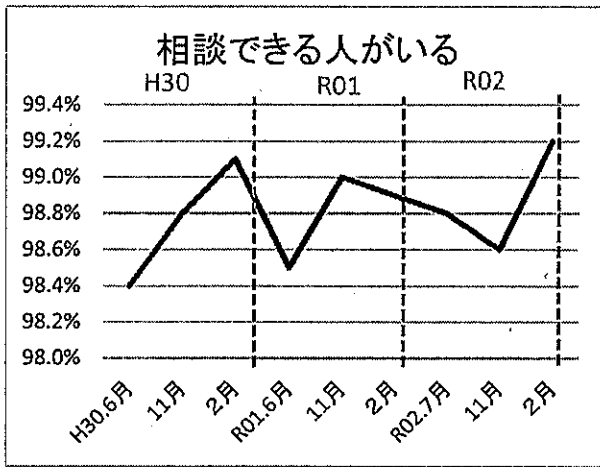
報告資料

件 名	令和2年度「いじめ認知・解消状況」及び「第3回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」結果について												
所管部署	教育指導部教育指導課												
内 容	<p>令和2年度「いじめの認知・解消状況」及び「第3回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」の結果について、下記のとおり報告する</p> <p>1 いじめの認知・解消状況（年度末現在）</p> <p>（1）いじめ新規認知件数 <u>5,729件</u>（対前年度比 -3,169件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初の臨時休業（4月、5月）に伴う授業日数の減少 ・ 新型コロナウイルス感染症に関連した偏見や差別を生まない指導の周知徹底 <p>（2）前年度未解消件数（令和元年度から令和2年度への繰り越し） <u>2,160件</u>（前年度比 -577件） ※ 3か月間の経過観察中事案を含む</p> <p>（3）いじめ解消状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解消件数 <u>6,077件</u>（前年度比-3,398件） ※3か月間の経過観察事案を除く ・ 解消率 <u>77.0%</u>（前年度比-4.4ポイント） ・ 解消率＝解消件数÷（新規認知件数＋前年度未解消件数）×100 ・ 年度当初の臨時休業に伴う学校生活の短縮 ・ 新しい生活様式に伴う友人関係の距離感 <p>2 令和2年度いじめに関するアンケート調査結果（第3回）</p> <p>（1）アンケート実施期間 令和3年2月1日～2月25日において各学校が定めた期間</p> <p>（2）対 象</p> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">全区立小・中学校</td> <td style="padding-right: 10px;">全児童・生徒</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">調査回答数</td> <td style="padding-left: 5px;">小学校</td> <td style="padding-left: 5px;">30,608名</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> <td style="padding-left: 5px;">中学校</td> <td style="padding-left: 5px;">13,050名</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> <td style="padding-left: 5px;">計</td> <td style="padding-left: 5px;">43,658名</td> </tr> </table> <p>（3）アンケート実施方法 児童・生徒が家庭にアンケート用紙を持ち帰り記入した後、専用の封筒で学校に提出する。</p> <p>（4）アンケート結果概要（主要項目の前年2月との比較） 別紙1及び別紙2参照</p>	全区立小・中学校	全児童・生徒		調査回答数	小学校	30,608名		中学校	13,050名		計	43,658名
全区立小・中学校	全児童・生徒												
調査回答数	小学校	30,608名											
	中学校	13,050名											
	計	43,658名											

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「相談できる人がいる」 99.2% (+0.3ポイント) ・ 「冷やかし、からかい、悪口を言われた」 1,850件 (-713件) ・ 「今、いじめられている」 228件 (-109件) ・ 未提出数 591件 (+38件) <p>(5) アンケート結果の分析</p> <p>ア 令和2年度に実施した3回のアンケート調査において、新型コロナウイルス感染症に関連したいじめについての回答はない。しかし、アンケート調査結果には表面化していないものもあると捉え今後も細心の注意を払いながらいじめの把握に努める。</p> <p>イ 偏見や差別を生まないことの指導については、児童・生徒のみならず、引き続き保護者に対しても適宜啓発する。</p> <p>ウ 「相談できる人がいる」については、「先生」、「友人」に対する相談が増加している。</p> <p>エ 未提出数の増加は、コロナ不安や帰国困難による長期欠席者の増加が理由である。また、不登校児童・生徒の自宅まで訪問して回収することが難しい状況にある。</p> <p>(6) 足立区いじめ等問題対策委員会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で子ども達どうしの接触の機会が減ったことで、いじめが起こりにくくなっている一方、いじめ解消の機会も減っている様子がうかがえる。 ・ 教育委員会と各小・中学校が新型コロナウイルス感染症に起因するいじめの防止に神経を使っていたことが奏功していると思われる。 ・ 「相談できる人がいる」の割合が多いことは評価できる。割合が増加しているのは、教員の努力の結果である。 ・ 足立区のスクールカウンセラーの活用はうまくいっている。新人のカウンセラーについては、慣れるまでの間はベテランのカウンセラーとペアリングさせるなどで、さらにより活用につなげてほしい。
問題点・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得るという認識のもと、教職員が細心の注意を払いながら、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めていく。 ・ 今後も、新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別を生まない指導を継続するとともに、地域、保護者にも啓発する。 ・ アンケートの回収が難しい家庭については、電話連絡等をとおして、いじめ被害の有無を確認する。

令和2年度いじめに関するアンケート調査結果【抜粋】

<経年>	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	H30.6月	11月	2月	R01.6月	11月	2月	R02.7月	11月	2月
相談できる人がいる	98.4%	98.8%	99.1%	98.5%	99.0%	98.9%	98.8%	98.6%	99.2%
冷やかし、からかい、悪口を言われた	4,261件	4,010件	2,625件	3,937件	3,753件	2,563件	1,186件	2,857件	1,850件
今、いじめられている	488件	504件	346件	516件	497件	337件	119件	309件	228件
未提出	314件	446件	470件	312件	478件	553件	331件	497件	591件



令和2年度いじめに関するアンケート調査結果（第3回：R03. 2月）

基礎情報	小学校			中学校			合計		
	R02. 2月	R02. 11月	R03. 2月	R02. 2月	R02. 11月	R03. 2月	R02. 2月	R02. 11月	R03. 2月
在籍数	31,315人	31,022人	30,838人	13,314人	13,361人	13,411人	44,629人	44,383人	44,249人
調査回答数	31,148人	30,860人	30,608人	12,928人	13,026人	13,050人	44,076人	43,886人	43,658人
回答率	99.5%	99.5%	99.3%	97.1%	97.5%	97.3%	98.8%	98.9%	98.7%
未回収数	167	162	230	386	335	361	553	497	591
前回未回収数	130	116	162	348	215	335	478	331	497

結果（回答件数）

調査項目	小学校			中学校			合計			
	R02. 2月	R02. 11月	R03. 2月	R02. 2月	R02. 11月	R03. 2月	R02. 2月	R02. 11月	R03. 2月	
1 相談できる人がいる	99.3%	98.8%	99.6%	97.8%	98.2%	98.1%	98.9%	98.6%	99.2%	
※複数回答 内訳	家の人	91.5%	91.2%	91.1%	79.5%	81.5%	80.5%	88.0%	88.3%	88.0%
	先生	64.6%	63.6%	66.7%	49.6%	51.7%	52.4%	60.2%	60.1%	62.4%
	友人	58.8%	58.7%	61.3%	76.9%	77.7%	78.5%	64.1%	64.3%	66.4%
	SC	14.2%	12.8%	14.0%	19.1%	20.0%	19.4%	15.7%	15.0%	15.7%
	その他	3.9%	4.1%	3.7%	3.7%	2.2%	2.2%	3.8%	3.5%	3.2%
<p>●上記の「家の人」は、兄弟・祖父母・いとこや親類等同居の場合も含む。 ●「その他」で記載された人物等の傾向について 習い事の先生、げんきの相談員、友達の家族、近隣の大人、医者（臨床心理士・精神科医）、デイサービス職員、シッター、学童や図書館支援員等の先生（教員以外の学校に関わる大人）、警察、ネット上の友達、いじめ相談（ネット、電話）、ペット ※小学校のみ：裁判所職員、教会の人、お寺の住職、自作のキャラクター、 ※中学校のみ：小学校の時の先生、先輩、人形</p>										
2 冷やかしの、からかい、悪口を言われた	7.7% (2,395)	8.7% (2,687)	5.7% (1,734)	1.3% (168)	1.3% (170)	0.9% (116)	5.8% (2,563)	6.5% (2,857)	4.2% (1,850)	
3 仲間はずれ、無視	3.2% (1,004)	3.5% (1,074)	2.4% (738)	0.4% (49)	0.4% (49)	0.2% (26)	2.4% (1,053)	2.6% (1,123)	1.7% (764)	
4 軽くふつかる、叩かれる、蹴られる	2.1% (652)	2.5% (767)	1.6% (495)	0.4% (52)	0.6% (74)	0.3% (45)	1.6% (704)	1.9% (841)	1.2% (540)	
5 ひどく叩かれる、蹴られる	1.7% (518)	1.7% (538)	1.2% (374)	0.2% (24)	0.2% (23)	0.1% (12)	1.2% (542)	1.3% (561)	0.9% (386)	
<p>主な内容例 ・友達と遊んだり、話したりしている時に突然叩かれたり蹴られたりする。・理由もなく衝動的に叩かれた。・体育の学習や外遊びの時にいきなりボールを当てられた。・口げんかの後に叩き合いになった。・ふざけ合っているうちに叩かれた。 ※小学校のみ：・鬼ごっこの際にタッチした後に叩かれた。・友達が投げた消しゴムが頬に当たった。・オンラインゲームでケンカになり教室で叩かれた。 ※中学校のみ：・部活動内で悪口を言われ、言わなかったら叩かれる。・友達へのちょっかいを止めたら、追いかけて殴られた。</p>										
6 お金を取られる、隠される	0.1%未満 (9)	0.1%未満 (17)	0.1%未満 (11)	満 (6)	0.1%未満 (0)	0.1%未満 (1)	満 (15)	0.1%未満 (17)	0.1%未満 (12)	
<p>主な内容例 ※小学校の例：・友達に貸したお金を返してもらっていない。・ショッピングモールで無理やり飲み物やお菓子をおごらされた。・放課後、公園で遊んでいたときに100円を取られたが、すぐに返却された。 ※中学校の例：・友達の家で複数人で遊んでいた時に千円札がなくなることが数回あった。</p>										

調査項目	小学校			中学校			合計		
	R02:2月	R02:11月	R03:2月	R02:2月	R02:11月	R03:2月	R02:2月	R02:11月	R03:2月
7 物をとられる、隠される	1.9% (578)	2.2% (685)	1.2% (372)	0.3% (33)	0.3% (38)	0.2% (23)	1.4% (611)	1.6% (723)	0.9% (395)
8 嫌なことをされる、させられる	1.2% (366)	1.4% (435)	0.8% (246)	0.2% (22)	0.2% (25)	0.1% (10)	0.9% (388)	1.0% (460)	0.6% (256)
9 パソコンやスマホ、携帯での嫌がらせ	0.1% (41)	0.2% (70)	0.1% (37)	0.2% (24)	0.2% (29)	0.1% (19)	0.1% (65)	0.2% (99)	0.1% (56)
10 他のことでいじめられた	0.6% (193)	0.6% (170)	0.4% (112)	満 (4)	0.1% (15)	0.1%未満 (5)	0.4% (197)	0.4% (185)	0.3% (117)
主な内容例 ※小学校のみ：・他学年の子に「遊びに入れて」と言ったら断られた。・友達から「一緒には帰らない」と言われた。・意見を言うと必ず反論される。・友達にくすぐられた。・嫌だと言ってもついてこられる。 ※中学校のみ：・別の生徒と後ろ姿が似ていることから、その人の名前で揶揄されて呼ばれることがあった。									
11 友達がいじめられているのを見た	5.1% (1,573)	5.7% (1,767)	3.6% (1,090)	0.7% (95)	0.5% (70)	0.3% (45)	3.8% (1,668)	4.2% (1,837)	2.6% (1,135)
12 今、いじめられている	1.0% (312)	0.9% (278)	0.7% (202)	0.2% (25)	0.2% (31)	0.2% (26)	0.8% (337)	0.7% (309)	0.5% (228)

未回収数の内訳

	小学校			中学校			合計		
	R02:2月	R02:11月	R03:2月	R02:2月	R02:11月	R03:2月	R02:2月	R02:11月	R03:2月
全員回収	20	16	11	2	5	6	22	21	17
1名	10	14	10	1	2	1	11	16	11
2名	11	15	11	6	2	3	17	17	14
5名以内	20	16	26	4	5	2	24	21	28
10名以内	7	7	9	7	6	10	14	13	19
11名以上	1	1	2	15	15	13	16	16	15
合計	69	69	69	35	35	35	104	104	104

未回収となった主な理由

	小学校			中学校			合計		
	R02:2月	R02:11月	R03:2月	R02:2月	R02:11月	R03:2月	R02:2月	R02:11月	R03:2月
学籍のみ	13	13	18	6	7	5	19	20	23
実施期間中に居住地以外に在住	12	10	12	2	1	5	14	11	17
児童相談所等との連携	5	4	3	4	5	4	9	9	7
不登校であり、回収に至らなかった	106	97	162	321	292	325	427	389	487
不登校気味で、日常的に本人・保護者との面会が困難	8	5	4	26	17	5	34	22	9
本人・保護者の判断	3	17	8	5	5	2	8	22	10
病気（入院中も含む）	16	13	22	22	7	14	38	20	36
日本語による読解が困難な状況	4	1	1	0	0	1	4	1	2
拒否	0	2	0	0	1	0	0	3	0
合計	167	162	230	386	335	361	553	497	591

報告資料

件名	令和2年度の不登校児童・生徒数について
所管部署	こども支援センターげんき教育相談課

1 令和2年度不登校児童・生徒数（累計30日以上欠席者）

【直近5年間の推移】

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年比
小学校	265	241	239	234	312	
出席扱い	(17)	(26)	(14)	(19)	(20)	+78
中学校	813	718	697	684	665	
出席扱い	(187)	(224)	(215)	(181)	(239)	-19
合計	1078	959	936	918	977	
出席扱い計	(204)	(250)	(229)	(200)	(259)	+59

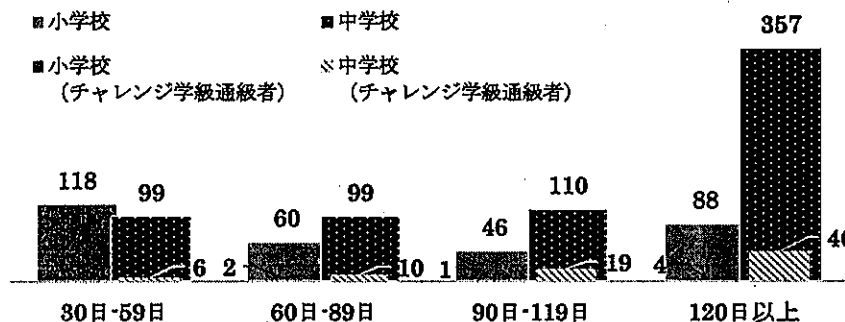
※ 出席扱い…学校の指導要録上は出席としている者の人数（チャレンジ学級等の学校以外の教育の場が該当）

【学年別の前年度数比較】

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計
元年度	10	24	27	37	54	82	234	182	267	235	684
2年度	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665
前年比	+3	-1	+19	+20	+27	+10	+78	-3	-41	+25	-19

●欠席日数別不登校児童・生徒人数

■小学校 ■中学校
 ■小学校 (チャレンジ学級通級者) ■中学校 (チャレンジ学級通級者)



●欠席日数別不登校児童・生徒の学年別人数内

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計
30日-59日	10	13	16	23	26	30	118	36	38	25	99
60日-89日	3	4	7	13	14	19	60	36	36	27	99
90日-119日	0	3	15	7	8	13	46	34	38	38	110
120日以上	0	3	8	14	33	30	88	73	114	170	357
合計	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665

2 学校種別の増減と主な要因

	増加(人数)	減少(人数)	変化なし
小学校	43校(126人)	19校(▲48人)	7校
中学校	15校(92人)	19校(▲111人)	1校
合計	58校(218人)	38校(▲159人)	8校

内 容

(1) 小学校（令和元年度との比較等）

【増加】 ■ 10人以上増加（1校）、6人から9人増加（5校）

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校で、生活リズムが崩れた児童が増加した。
- ・ ゲームやスマホの時間が増え、学習意欲がなくなった。
- ・ 理由が明確でない欠席が積み重なった。

【減少】 ■ 5人減少（2校）、3人から4人減少（7校）

- ・ 欠席した当日に連絡がつかなければ、担任だけでなく、区SCや学習支援員が早期に家庭訪問を行った。
- ・ 校内体制を整え、朝の出欠確認時から丁寧に対応した。

(2) 中学校（令和元年度との比較等）

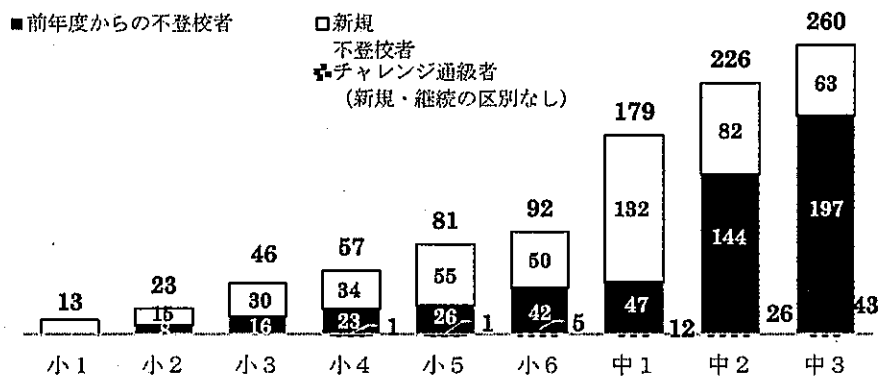
【増加】 ■ 10人以上増加（3校）、7人増加（2校）

- ・ 家庭訪問しても会えない、電話連絡が繋がらないなど、支援が進まない状態であった。
- ・ クラス替えにより、友人と上手に関係が築けずに不登校状態となった。

【減少】 ■ 10人以上減少（3校）、7人から8人減少（4校）

- ・ チャレンジ学級への通級が、学校復帰に至った。
- ・ 学校外の関係機関と連携した支援が効果的だった。
- ・ 電話連絡、家庭訪問を丁寧に行い、学校復帰に繋がった。

3 学年別不登校児童・生徒数と今後の支援



(1) 不登校児童（小学生）への対応

担任中心の対応から組織的支援へ体制を整えるため、校長会等での周知を通じ、朝会や夕会での情報共有体制を強化する。学校復帰が困難な場合は、ICTを活用した支援を促す。

(2) 中学進学時の支援

長期欠席児童・生徒支援シートを中学校にスムーズに引き継ぎ、小学校時に登校渋り等があった生徒の早期把握を行う。また、中学入学後の環境面と発達面での変化に対応するため、生徒への接し方等の研修（教育相談コーディネーター研修等）を充実させる。

4 不登校の要因（※ 複数回答）

		中学校	小学校
(1)いじめ		0	1
(2)いじめを除く友人関係	友人との関係が悪化	62	25
	友人ができない	69	9
	その他	21	11
(3)教員との関係	教員とのトラブル(叱責・注意等)	15	6
	教員と上手くいかない	5	9
	授業・学校がつまらない	11	7
	その他	2	5
(4)学業不振	授業がわからない・ついていけない	111	39
	勉強が嫌い	63	12
	試験・定期考査等への不適合	8	0
	その他	2	4
(5)進路に関する不安		10	2
(6)部活動等への不適合		10	0
(7)学校のきまり等の問題	生徒指導が厳しい・堅苦しい	4	1
	校則等を守りたくない	5	0
	その他	15	3
(8)入学、編入学等の不適合		31	5
(9)家庭に係る状況	生活の変化(親の離婚等)	18	17
	親子の関係	57	79
	家庭の不和	22	15
	その他	5	23
(10)本人の課題	無気力・不安	420	190
	生活リズムの乱れ・遊び	115	78
(11)その他(上記該当なし)		25	12

5 NPOと連携した居場所を兼ねた学習支援（不登校支援）の状況

●支援人数

	小5	小6	中1	中2	中3	計
中部地区	0	1	9	2	8	20
西部地区	1	3	1	4	5	14
東部地区	0	0	6	9	3	18
合計	1	4	16	15	16	52

●支援結果（中学3年生は進路等）

中学3年生	高校進学	15名	チャレンジスクール、通信制学校等
	家事手伝い	1名	
小学5年生～ 中学2年生	居場所支援等 が定着	22名	学校復帰、チャレンジ学級に通級又は居場所支援の継続
	継続通級困難	14名	教育相談、SSW等の個別支援

問題点・今後の方針

- 1 居場所を兼ねた学習支援事業（不登校者対象）を北部地域で開始し、多様な教育機会による支援を拡大する。
- 2 ICTを活用した自宅学習や、学校以外での学習状況を確認できる仕組みを構築し、外出が困難な児童・生徒にも学習の機会を確保する。